

将来の仕事 考えよう

藤岡 全中学2年が職場体験



除草作業に黙々と取り組む北中生徒

藤岡市内の中学校全5校の2年生約680人が、職場体験を行う「チャレンジウィーク」が9日間で、市内の事業所や病院など約250カ所で行われている。このう

ち藤岡北中（中村裕子校長）は、職場体験に加え、地域貢献活動にも取り組み、生徒が心地よい汗を流している。

北中は地域貢献に励む

同校は本年度、地域との結び付きを深めようと、生徒25人で「北中ちいき隊」を結成した。今回職場体験の機会をとらえ、「地域に

住む独居老人との交流」と小学生の下校補助といった「地域貢献」活動にも励んでいる。生徒6人は7日午前、お年寄りが多く暮

らす同市中栗須の岡前団地を訪問。庭先の除草作業やお年寄りと会話を交わすなど約3時間にあたり交流した。午後は道路に落ちているごみ拾いや小学生の下校補助に汗を流した。

八重樫大河君(13)は「地域の人から感謝の言葉を掛けられてとてもうれしい」と充実した表情をみせた。

「チャレンジウィーク」は、生徒に今後の進路選択に生かしてもらおうのが狙いで、5日間の日程で行っている。生徒は事業所や病院のほか、保育園や工場などで仕事の大変さを実感している。